



CORPY&Co.

株式会社コーピー 会社紹介



私たちは2017年3月に創業し、

今年で**10年目のAIスタートアップ**です。

10年前というと「AI」という言葉がまだ一般的には浸透していないような時代から誰もが安心して使える

「ミッションクリティカル」なAIを実現すべく、

AI開発や運用支援を行ってきました。

今まで**400以上のプロジェクト**を遂行し、

自動運転の技術開発にも貢献しております。

AI導入の実態

現状、AIは広告やレコメンドの分野では広く活用されていますが、製造やインフラなど人命や経営に直結する領域では、ほとんどがPoC（概念実証）の段階で止まっています。

生命／経営への影響 リスクの大きさ	発生頻度	AIの寄与率低 回避容易	AIの寄与率中 回避可能	AIの寄与率高 回避困難
無	低	品質検証不要（レコメンド広告等）		
	中			
	高			
小	低			レベル1
	中		レベル1	レベル2
	高		レベル1	レベル2
中	低			レベル1
	中		レベル1	レベル2
	高	レベル1	レベル2	レベル3
大	低		レベル1	レベル2
	中	レベル1	レベル2	レベル3
	高	レベル2	レベル3	レベル4

PoCを実施してみたけど。。。

なんでAIがこのケースで
予測失敗するのか分からない

本導入するために必要な
データやアプローチが分からない

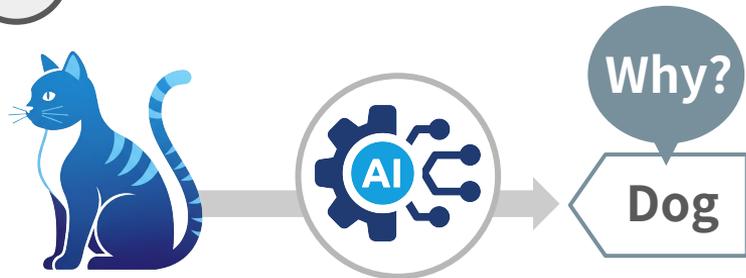
AIシステムの運用・
品質管理方法が分からない

Source) AISL 機械学習品質マネジメントガイドライン 第4版

クリティカル領域へのAI導入の2つの壁

1

AIのブラックボックス化



なぜそのような結果が出たのかを一目で説明できない状態

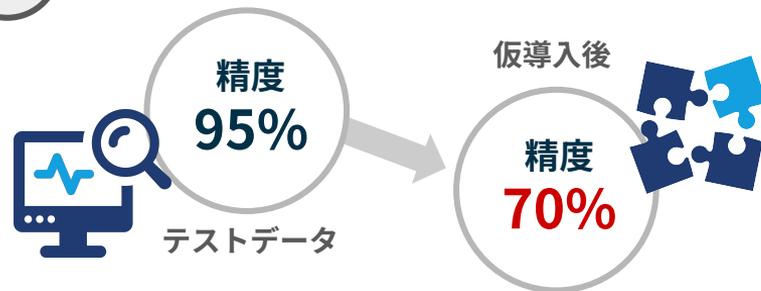
判断根拠が分からないと
使えない・改善できない



現場のAI運用管理者

2

AIの品質検証が不十分



テストデータに対する精度だけでは品質を十分に測れない

品質検証をちゃんと
できていないと本導入できない



意思決定者

結果、AIは精度が高くても“安心して本導入へ進めない”のが実情です。

これからのAIに必要なこと

これからのAIに必要なのは“精度”だけでなく“安心して使えるかどうか”

私たちは、ミッションクリティカルAIを実現するためのエッセンシャルな技術として「説明可能AI = XAI」および「AI向け品質検証技術 = QAAI」を蓄積し、製造やインフラなど高いアカウンタビリティ（説明責任）が求められる分野においてAIの社会実装を進めてきました。

+ XAI +

eXplainable AI

+ QAAI +

Quality Assurable AI

私たちは品質検証と運用管理という領域にフォーカスし、御社がPoCにとどまらず、確実にAIを社会実装できるよう伴走していきます。

主な事業

CONFIDE

AIモジュール

マルチモーダル機械学習、生成AI、
基盤モデル、ドメイン適応

AI運用管理基盤

説明可能AI (XAI)、AI向け品質保証
(QAAI)、AI CI/CDを搭載したコア技術

AIプロダクト・ライセンス事業

Manufacturing

Warehouse/Infrastructure

外観検査や作業者解析
等の製造業・設備向け
AIソリューション

Transportation

Logistics/Smart City

配車最適化や交通の安
定最適運行を実現する
AIソリューション

Others

LLMソリューション
MLOpsソリューション
XAI&QAAIソリューション

AI R&D支援事業

Mobility

Aerospace/Defense

モビリティや重機の自動運転、ロボットの
自動化などを実現するAIの研究開発支援

DX支援事業

法人向けAI/DX研修「AI Dojo」、AIリスクアセスメント、AI品質検証、AIガバナンス、戦略構築支援など

乗合送迎サービスにおいて、 AIを活用した「忘れ物検知 機能」の実証実験を開始



株式会社アイシン

AISIN

株式会社アイシンは、愛知県刈谷市に本社を置く、総合自動車部品メーカー

駆動・車体・走行安全など幅広い自動車部品や、エネルギーソリューション関連機器を製造販売しています。トヨタグループ主要企業の一つで、連結従業員は約12万人にのびます。重点領域は電動化、カーボンニュートラル、知能化です。

導入の背景

アイシンが提供するオンデマンド乗合送迎サービス「チョイソコ」は、全国70以上の自治体で導入され、地域の移動格差解消に貢献しています。サービスの利便性や信頼性をさらに高めるため、運行中の課題である忘れ物への対策が求められていました。この課題解決のため、ミッションクリティカル領域のAI技術に強みを持つコピーと協業し、AIを活用した「忘れ物検知機能」の実証実験が行われました。

具体的な取り組み

コピーは、AIを活用した忘れ物検知機能の実証実験に対し、技術支援を提供しました。車内のカメラ画像から荷物と持ち主の関係性を推測することで、降車時に忘れ物を検知し降車した乗客へ忘れ物の確認を音声通知する機能を開発しました。また、AIの実運用に不可欠な品質保証として、判断根拠を示すXAI（説明可能AI）技術や、実環境での頑健性を検証するQAAI（AI向け品質検証）技術を統合した包括的アルゴリズムを提供しています。

実績紹介 インフラ

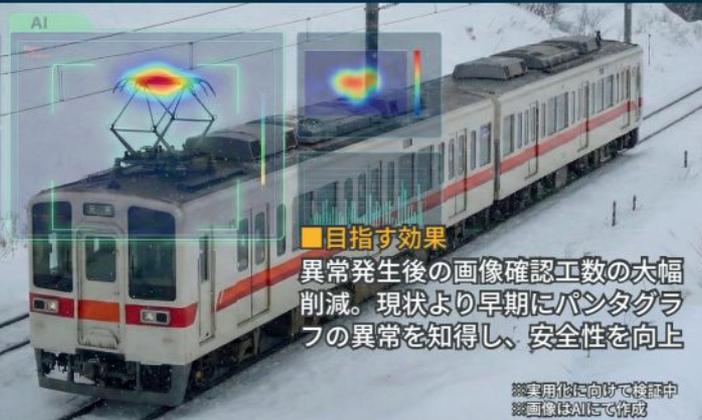
JR東日本と共同研究 - AI画像解析によるパンタグラフ早期故障発見

■課題

従来の事後確認では困難な、リアルタイムでの異常検知と発生地点の即時特定

■解決策

パンタグラフ監視カメラの画像から、損傷リスクの高い箇所の異常をAIで自動検知。屋外の外乱環境下でも安定して稼働する「頑健なAI」の開発・運用



■目指す効果

異常発生後の画像確認工数の大幅削減。現状より早期にパンタグラフの異常を知得し、安全性を向上

コピーのコア技術の融合で「頑強AI」の実現

自動運転AI



悪天候・外乱への強さ

外観検査AI



製造業向け外観検査AIの精密さ

パンタグラフ故障発見AI



屋外インフラでも安定稼働

ミッションクリティカルなAIを実現する



CORPY & Co.

Contact

biz-ext@corpy.co.jp